

第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

政策目標3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち
-------	--------------------

施策3－1 自然との共生社会の推進

施策3－2 循環型社会の推進

施策3－3 生活排水対策の充実

施策3－4 安全でおいしい水の安定供給

施策3－5 魅力的な都市空間の創造

施策3－6 公共交通体系の充実

施策3－7 道路環境の整備

担当課	環境課・産業課	施策3-1の全指標達成率					
政策目標	3 良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	1 自然との共生社会の推進	指標数	12	12	12	12	12
目指す姿	市民・事業者・ボランティア団体の一人一人の取組により、豊かな自然や快適な生活環境が維持・保全されている	達成数	6	7	8	7	0
		達成率	50.0%	58.3%	66.7%	58.3%	0.0%

1 成果指標（KPI）				指標数	3	3	3	3		
				達成数	1	1	1	2	0	
				達成率	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	
成果指標 1	公害の迷惑行為に寄せられる苦情件数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1 18件	目標値	17	17	16	16	15	件 以下	環境課
			実績値	35	36	28	12			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	○ 達成			
目標値の考え方	公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施することで、苦情案件への指導が減少する効果を考慮し、目標値を設定									
成果指標 2	愛護動物の迷惑行為に寄せられる苦情件数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1 30件	目標値	26	23	21	18	15	件 以下	環境課
			実績値	37	42	36	49			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
目標値の考え方	飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じた啓発等を実施することによる効果を考慮し、目標値を設定									
成果指標 3	伊東市森林整備計画に基づき間伐を行った森林面積（累計）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1 13.8ha	目標値	16.8	18.3	19.8	22.1	累計22.8	ha 以上	産業課
			実績値	18.1	21.7	23.9	27.2			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
目標値の考え方	伊東市内の森林において、過去に実施した間伐面積の年平均が1.54haであったため、各年度の間伐実施面積を1.5ha/年として見込み、累計22.8haと設定した。									
R3年度	1（実績評価）・公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。 （次年度修正点）・引き続き公害に関する迷惑行為をしないように、広報等を通じた啓発等を実施する。									
	2（実績評価）・飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。 （次年度修正点）・引き続き飼養している愛護動物の適切な管理をするように、広報等を通じた啓発等を実施する。									
	3（実績評価）・R3年度目標の16.8haを上回る18.1haを整備し達成。R4年度も継続して整備を行っていく。 （次年度修正点）・特になし									
R4年度	1（実績評価）・公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。 （次年度修正点）・引き続き公害に関する迷惑行為をしないように、広報等を通じた啓発等を実施する。									
	2（実績評価）・飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。 （次年度修正点）・引き続き飼養している愛護動物の適切な管理をするように、広報等を通じた啓発等を実施する。									
	3（実績評価）・R4年度の目標値18.3haを上回る21.7haを整備し目標達成。 （次年度修正点）・令和5年度も継続して整備を行う。									
R5年度	1（実績評価）・公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。 （次年度修正点）・公害に関する迷惑行為をしないように、広報等を通じた啓発等を強化する。									
	2（実績評価）・飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。 （次年度修正点）・飼養している愛護動物の適切な管理をするように、広報等を通じた啓発等を強化する。									
	3（実績評価）・令和5年度の目標値19.8haを上回る23.9haを整備し目標を達成することができた。 （次年度修正点）・継続して森林整備を行っていく。									
R6年度	1（実績評価）・公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施してきたことが、実を結んだ。 （次年度修正点）・公害に関する迷惑行為をしないように、引き続き広報等を通じた啓発等を実施する。									
	2（実績評価）・飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じて啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。 （次年度修正点）・広報いとうや市HPにて飼育している愛護動物の適正管理について啓発活動を行っていくとともに、苦情対象者については、熱海保健所と連携し、適正飼育について指導を行い、再発防止を図る。▪									
	3（実績評価）・令和6年度の目標値22.1haを上回る27.2haを整備し目標を達成することができた。 （次年度修正点）・継続して森林整備を行っていく。									

担当課		環境課	施策3－2の全指標達成率					
政策目標	3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	2	循環型社会の推進	指標数	12	12	12	12	12
目指す姿		市民、滞在者、事業者がごみの減量・資源化と温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる	達成数	6	5	6	6	0
			達成率	50.0%	41.7%	50.0%	50.0%	0.0%

1 成果指標（K P I）				指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	1	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
成果指標 1	可燃ごみの排出量	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		R1	目標値	29,696	29,548	29,399	29,250	29,101	t	環境課	
		30,758 t	実績値	28,208	28,450	27,781	27,372				
			評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
目標値の考え方	過去の可燃ごみ量の実績を元に、今後の将来人口予測とごみの排出抑制施策や減量化施策による効果を踏まえ、目標値を設定										
成果指標 2	リサイクル率（総資源化量／総ごみ量）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		R1	目標値	18.00	18.50	19.00	19.50	20.00	%	環境課	
		17.85%	実績値	18.43	18.87	18.04	17.69				
			評 価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の考え方	過去のリサイクル率を元に、市民に対する適正な分別の徹底や新たな品目の資源化施策による効果を踏まえ、目標値を設定										
R3 年度	1（実績評価）・コロナ禍による社会経済活動の縮小もあり、目標を達成した。 （次年度修正点）・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。										
	2（実績評価）・分別収集の定着により目標を達成した。 （次年度修正点）・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。										
R4 年度	1（実績評価）・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まりから、目標を達成した。 （次年度修正点）・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。										
	2（実績評価）・分別収集の定着により目標を達成した。 （次年度修正点）・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。										
R5 年度	1（実績評価）・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の増加も予想されたが、目標を達成することができた。 （次年度修正点）・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。										
	2（実績評価）・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 （次年度修正点）・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。										
R6 年度	1（実績評価）・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 （次年度修正点）・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。										
	2（実績評価）・ガラスびんや古紙回収量の減少から、令和6年度は目標を達成できなかった。 （次年度修正点）・資源ごみにおける割合が高い古紙がDX化の推進により減少して、リサイクル率を高めることが難しい状況となっているが、引き続き広報に努め、リサイクル意識の向上を図る。										

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	10	10	10	10	10	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	4	3	5	5	0		
				達成率	40.0%	30.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
O1 ごみ発生抑制の推進			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	0	0	1	1	0		
				達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101	家庭ごみの発生を抑制するための啓発（生ごみの水切りの徹底、食材の使い切り、食品の食べ残り、生ごみ処理器の購入費補助金の交付等）	生ごみ処理容器等設置費補助金交付設置数	R1 26件	目標値	30	30	30	30	30	件	環境課
				実績値	28	29	50	47			
				評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成	以上		
年度評価	R3	O101 生ごみ処理容器等設置費補助及び環境衛生協会による生ごみの水切り用具の配付による家庭ごみの抑制に努めた。									
	R4	O101 「環境衛生だより」による家庭用生ごみ処理器購入補助交付の周知を図ったが、目標値を下回ったため、市内の事業所に限定している購入場所について、市外への拡大も検討していく。									
	R5	O101 「環境衛生だより」（毎年度10月発行）の家庭用生ごみ処理器購入補助制度の記事が目立つよう工夫を凝らしたこと等により、年度後半に設置数が伸び、目標を達成することができた。									
	R6	O101 購入条件を緩和したことにより、特に電動式生ごみ処理機購入による交付件数が増え、令和5年度同様、目標値を大きく上回る実績を上げることができた。									

O6 廃棄物処理施設の適正な維持管理			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O601	排出基準値1ng-TEQ/ mN以下、放流水質 COD40mg/L以下、 SS90mg/L以下の基 準値内処理	ダイオキシン類 (1ng-TEQ/mN) 放流水質 COD(40mg/L) SS(90mg/L)	R 1 1ng- TEQ/m N以下 40mg/L 以下 90mg/L 以下	目標値	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	ng- TE Q/m N	環境課
				実績値	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	mg/ L 以下		
				評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
年度評価	R 3	O601 可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。今後も施設の適正な維持管理に努めていく。									
	R 4	O601 可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。									
	R 5	O601 可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。									
	R 6	O601 可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。									

05 景観に配慮したまちづくりの推進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	3	2	2	0		
				達成率	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	伊東市景観条例に基づく指導	違反件数	直近5年の平均 0件	目標値	0	0	0	0	0	件	都市計画課
				実績値	0	0	0	0			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0502	静岡県屋外広告物条例に基づく指導	指導件数	直近5年の平均 40件	目標値	40	40	40	40	40	件	都市計画課
				実績値	40	40	40	40			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0503	廃屋解体の撤去支援	補助金交付件数	直近5年の平均 11件	目標値	15	15	15	15	15	件	都市計画課
				実績値	15	15	9	7			
				評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成			
年度評価	R3	0501 建築物等に対し周辺環境との調和を図るよう色彩について指導を行った。									
		0502 違反広告物の広告主等に対し口頭指導を行った。									
		0503 17件の申請があり、15件に補助金を交付した。									
	R4	0501 建築物等に対し周辺環境と調和を図るよう色彩について指導を行った。									
		0502 違反広告物の広告主等に対し口頭指導を行った。									
		0503 18件の申請があり、15件に補助金を交付した。残りの3件については、取り下げや廃屋認定されなかったことなどにより、交付しなかった。									
	R5	0501 建築物等に対し周辺環境と調和を図るよう色彩について指導を行った。									
		0502 違反広告物の広告主等に対し口頭指導を行った。									
		0503 申請のあった9件に対し、全て補助金を交付した。									
	R6	0501 建築物等に対し周辺環境と調和を図るよう色彩について指導を行った。									
		0502 違反広告物の広告主等に対し口頭指導を行った。違反広告の通報に対しパトロールと調査を実施した。									
		0503 申請のあった7件に対し、全て補助金を交付した。廃屋対応の相談件数の推移が低調となってきたが、相続登記等の義務化に伴い徐々に関心が高まることも予測できる。									

06	市営住宅の快適で良好な住空間の維持・確保		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位		担当課	
				達成数	2	1	0	0	0				
				達成率	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7				
0601	誰もが健やかに暮らせるよう市営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新	中層耐火構造住宅における住戸改良の実施累計戸数	— ※2	目標値	4	7	14	26	39	戸	建築住宅課		
				実績値	4	7	11	13					
				評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成	以上				
0602	耐用年限が経過した老朽住戸の解体・撤去	用途廃止の後に解体・撤去した老朽住戸の戸数	R2 5戸 ※3	目標値	3	3	3	3	3	戸	建築住宅課		
				実績値	3	2	2	2					
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成	以上				
年度評価	R3	0601 長寿命化計画に則り予定どおり施工を行った。											
		0602 用途廃止がされている戸建住宅の解体を行った。											
	R4	0601 長寿命化計画に則り施工を行った結果、達成に至った。											
		0602 集合住宅の用途廃止が無く戸建て解体に留まったため、達成には至らなかった。今後、各市営住宅の状況を分析し、解体や撤去を優先的に行う市営住宅を精査していく。											
	R5	0601 工事費の上昇により、計画戸数を達成できなかった。											
		0602 戸建て解体に留まったため、達成には至らなかった。今後、各市営住宅の状況を分析し、解体や撤去を優先的に行う市営住宅を精査していく。											
R6	0601 工事費の上昇により、計画戸数を達成できなかった。引き続き、各市営住宅の状況を分析し、需要の多い市営住宅を優先的に改良を行っていく。												
	0602 戸建て解体に留まったため、達成には至らなかった。今後、各市営住宅の状況を分析し、解体や撤去を優先的に行う市営住宅を精査していく。												

※2 令和3年度から実施する事業であり、基準値は一としたが、伊東市市営住宅長寿命化計画において目標値を掲げていることから、これに合わせた。

※3 基準値は令和2年度の5戸であるが、退去が生じなければ実施できない場合があるため、各年度3戸以上の目標値としている。

O3 地域公共交通の確保・充実			達成状況	指標数	3	3	3	3			
				達成数	1	0	1	1	0		
				達成率	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O301	交通空白地域の解消に向けた取組	取組支援件数	R2	目標値	2	3	4	5	6	件	都市計画課
			2件	実績値	2	2	4	5			
			評価	○ 達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成				
O302	別荘地等が主体となり運行する生活交通への補助	取組支援件数	R2	目標値	2	3	4	5	6	件	都市計画課
			2件	実績値	1	1	2	2			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O303	UDタクシー車両の購入補助	補助件数	R2	目標値	3	3	3	3	3	台	都市計画課
			1台	実績値	1	1	1	0			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
R3	O301 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、伊東マンション地区の今後の移動手段に関するアンケートの作成や集計等の支援を行った。										
	O302 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、新たな交通の実証実験に向けた支援を行ったが、その他の別荘地等による運行に向けた活動が無かったため1件の支援となった。										
	O303 UDタクシー導入促進事業として車両の購入補助（1台）を行った。3事業者から申請を受け交付決定したが、2者から辞退の申し入れがあり1台の補助となった。										
R4	O301 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、伊東マンション地区の今後の移動手段に関するアンケートの結果に基づき、今後について意見交換等の支援を行ったが、その他の交通空白地域等による運行に向けた地域の活動が無かったため2件の支援となった。今後、地域の活動を注視し支援を広げていきたい。										
	O302 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、新たな交通の実証実験の支援を行ったが、その他の別荘地等による運行に向けた活動が無かったため1件の支援となった。今後、別荘地の活動を注視し支援を広げていきたい。										
	O303 UDタクシー導入促進事業として車両の購入補助（1台）を行った。										
R5	O301 伊豆高原地域デマンド型乗合タクシー結果検証会、伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加したほか、八幡野漁港自動運転の視察を行った。										
	O302 伊豆高原地域デマンド型乗合タクシー結果検証会、伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加したほか、丸善ランド地区での運行に関する相談に対応した。										
	O303 UDタクシー導入促進事業として車両の購入補助（1台）を行った。運転手不足や物価高騰等もあってかタクシー事業者からの導入希望がなかったこともあり、令和6年度は予算化されていないが、今後、改めてUDタクシー導入補助について事業者に対し周知しつつ、次年度に向けた導入要望などを伺ってきたい。										
R6	O301 赤沢地区におけるデマンドタクシーの他、市内交通事業者等と交通情報系企業が地域と連携して行った荻地区、岡地区、伊豆高原（すいらん・親和会）、城ヶ崎地区における、デマンド型定時路線交通の実証事業を支援した。										
	O302 新たな地域公共交通計画の策定に際し、大室高原自治会や丸善ランド自治会が主体となる生活交通について、地域での機運醸成等の契機につなげたいとの意向を受け、市内での先進事例として取材し、計画に掲載した。八幡野以南の別荘地は自治会等でシャトルバスを運行している他、大室高原、かどの台、丸善ランドでは住民独自の移動支援サービスを提供しているが、当該エリア以外は互助での事業が進まない現状があるため、その要因も検証したい。										
	O303 令和6年度は予算なし（事業休止） 今年度、タクシー事業者からの要望等はなかった。										

担当課	建設課	施策３－７の全指標達成率					
政策目標	③ 良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	⑦ 道路環境の整備	指標数	16	16	16	16	16
目指す姿	市域において円滑・安全・安心・快適な道路環境が維持できている	達成数	9	8	6	6	0
		達成率	56.3%	50.0%	37.5%	37.5%	0.0%

1 成果指標（K P I）			指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	0	0	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
成果指標 1	道路瑕疵による事故発生件数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 件	担当課 建設課
		R1	目標値	0	0	0	0	0		
		0件	実績値	2	5	3	3			
			評 価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
目標値 の 考え方	良好な道路環境を保つために、道路パトロールの実施、計画的な修繕及び補修に関する市民要望への迅速かつ的確に対応して被害を無くす。									
成果指標 2	幹線市道の整備率	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 %	担当課 建設課
		R1	目標値	96.7	97.2	97.7	98.1	98.5		
		95.7%	実績値	95.8	95.9	96.2	96.2			
			評 価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
目標値 の 考え方	幹線市道の狭隘箇所やすれ違い困難箇所などを解消し、良好な道路環境を創出する。									
R3 年度	1（実績評価）・市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。 （次年度修正点）・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。									
	2（実績評価）・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。 （次年度修正点）・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。									
R4 年度	1（実績評価）・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至らなかった。 （次年度修正点）・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。									
	2（実績評価）・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。 （次年度修正点）・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。									
R5 年度	1（実績評価）・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至らなかった。 （次年度修正点）・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。									
	2（実績評価）・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。 （次年度修正点）・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。									
R6 年度	1（実績評価）・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の枝落下による事故等があり、目標値の達成には至らなかった。 （次年度修正点）・市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。									
	2（実績評価）・幹線市道の拡幅改良などの工事が実施できず、目標値の達成には至らなかった。 （次年度修正点）・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。									

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	14	14	14	14	14	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	9	8	6	6	0		
				達成率	64.3%	57.1%	42.9%	42.9%	0.0%		
O1 円滑な道路環境の整備			達成状況	指標数	6	6	6	6	6		
				達成数	2	2	1	1	0		
				達成率	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101 道路交通量の把握	交通量調査実施回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	1	回	建設課
		0回	実績値	0	1	0	0				
		評価	× 未達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成		以上			
O102 市道の利用に対する市民の声の把握	道路整備について満足している市民の割合	R2	目標値	47.9	48.4	48.9	49.4	49.9	%	建設課	
		47.4%	実績値	45.4	44.4	41.8	40.2				
		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上			
O103 幹線市道の計画的な整備	整備延長（累計）	R1	目標値	89.3	89.8	90.2	90.7	91.2	km	建設課	
		88.4km	実績値	88.5	88.6	88.9	88.9				
		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上			
O104 渋滞の緩和対策の検討	県への要望回数（要望書として）	R1	目標値	1	1	1	1	1	回	建設課	
		1回	実績値	1	1	1	1				
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上			
O105 円滑な交通のための道路網整備	幹線市道の整備率	R1	目標値	96.7	97.2	97.7	98.1	98.5	%	建設課	
		95.7%	実績値	95.8	95.9	96.2	96.2				
		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上			
O106 移住定住促進道路整備	年間整備延長	R2	目標値	0	200	200	200	200	m	建設課	
		0m	実績値	7	0	0	91				
		評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上			
年	R3	O101 新規改良事業が無いため、交通量調査は未実施となった。									
		O102 市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。									
		O103 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。									
		O104 国道135号の川奈・吉田地区間及び八幡野地区の交通渋滞緩和対策のための要望を行っている。									
		O105 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。									
		O106 各自治会の年次計画に沿って、交差点部の薄層カラー舗装を実施した。									
度	R4	O101 交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施した。									
		O102 市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。									
		O103 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。									
		O104 国道135号の川奈・吉田地区間及び八幡野地区の交通渋滞解消のための要望を行った。									
		O105 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。									
		O106 各自治会の年次計画に沿って、移管手続きを進めたが、実施に至らず、整備をすることができなかった。今後も各自治会と調整を続けながら整備を進めていく。									
評	R5	O101 新規改良事業が無いため、交通量調査は未実施となった。今後も円滑な道路環境の整備のため、交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施する。									
		O102 市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。									
		O103 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。									
		O104 国道135号の川奈・吉田地区間及び八幡野地区の交通渋滞解消のための要望を行った。									
		O105 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。									
		O106 各自治会の年次計画に沿って、移管手続きを進めたが、実施に至らず、整備をすることができなかった。今後も各自治会と調整を続けながら整備を進めていく。									
価	R6	O101 新規改良事業が無いため、交通量調査は未実施となった。今後も円滑な道路環境の整備のため、交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施する。									
		O102 市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。									
		O103 幹線市道の拡幅改良などの工事が実施できず、目標値の達成には至らなかった。今後も粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。									
		O104 国道135号の川奈・吉田地区間及び八幡野地区の交通渋滞解消のための要望を行った。									
		O105 幹線市道の拡幅改良などの工事が実施できず、目標値の達成には至らなかった。今後も粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。									
		O106 各自治会の年次計画に沿って、移管済路線の側溝改良を実施した。									

02 道路施設等の適切な維持管理の推進			達成状況	指標数	6	6	6	6	6		
				達成数	6	6	5	5	0		
				達成率	100.0%	100.0%	83.3%	83.3%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	路面の破損箇所等の早期発見・早期補修	道路パトロール実施回数	R1	目標値	24	24	24	24	24	回	建設課
			24回	実績値	28	26	26	24			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0202	道路パトロール等による早期発見・早期補修	修繕等の処理率	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	建設課
			100%	実績値	100	100	100	100			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0203	舗装長寿命化のための計画的な修繕（累計）	修繕延長	R1	目標値	1,873	2,373	2,873	3,373	3,873	m	建設課
				実績値	4,040	4,786	5,343	5,792			
			1,373m	評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0204	交通安全施設の設置	防護柵、標識等の交通安全施設設置工事発注件数	R1	目標値	2	2	2	2	2	件	建設課
			2件	実績値	4	4	3	4			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0205	道路施設の長寿命化（累計）	修繕橋りょう数	R1	目標値	41	46	51	56	61	橋	建設課
			21橋	実績値	42	49	50	51			
			評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成				
0206	先進技術の活用	活用工法数	R2	目標値	1	1	1	1	1	工法	建設課
				実績値	1	1	1	1			
			0工法	評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
年度	R3	0201 月2回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握に努めた。									
		0202 速やかな報告、現場確認及び業者依頼を行い、適切な維持管理に努めることができた。									
		0203 土質調査等を行い、工法検討した結果、目標値を上回る延長を修繕することができた。									
		0204 市民要望やパトロールなどにより発見した危険箇所の整備を推進することができた。									
		0205 同一地域でまとめて発注することができたため、計画を上回る実績とすることができた。									
		0206 ICT土工（情報通信技術）を取入れ、施工効率の向上を図った。									
年度	R4	0201 月2回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握に努めた。									
		0202 速やかな報告、現場確認及び業者依頼を行い、適切な維持管理に努めることができた。									
		0203 城ヶ崎線舗装改良工事にて、延長L＝745.5m施工を行い、目標値を達成することができた。									
		0204 市民要望や道路パトロールなどにより発見した危険箇所の整備を行い、目標値を達成することができた。									
		0205 同一地域でまとめて発注することができたため、計画を上回る実績とすることができた。									
		0206 道路反射鏡の基礎工において、ボールアンカールーツを取入れ、施工効率の向上を図った。									
評価	R5	0201 月2回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握に努めた。									
		0202 速やかな報告、現場確認及び業者依頼を行い、適切な維持管理に努めることができた。									
		0203 城ヶ崎線舗装改良工事にて、延長L＝557m施工を行い、目標値を達成することができた。									
		0204 市民要望や道路パトロールなどにより発見した危険箇所の整備を行い、目標値を達成することができた。									
		0205 同一地域でまとめて発注することができたが、目標値を達成することができなかった。今後とも道路施設の適切な維持管理に努め長寿命化を図る。									
		0206 道路反射鏡の基礎工において、ボールアンカールーツを取入れ、施工効率の向上を図った。									
評価	R6	0201 月2回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。									
		0202 速やかな報告、現場確認及び業者依頼を行い、適切な維持管理に努めることができた。									
		0203 城ヶ崎線舗装改良工事にて、延長L＝134m、大室入口線舗装改良工事にて、延長L＝315m施工を行い、目標値を達成することができた。									
		0204 市民要望や道路パトロールなどにより発見した危険箇所の整備を行い、目標値を達成することができた。									
		0205 無名橋10の改修工事を行ったが、目標を達成することができなかった。今後も道路施設の適切な維持管理に努め長寿命化を図る。									
		0206 道路反射鏡の基礎工において、ボールアンカールーツを取入れ、施工効率の向上を図った。									

O3 安全で快適な歩道空間の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	1	0	0	0	0	0		
			達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O301	歩道のバリアフリー化の促進	バリアフリー化路線数	R1	目標値	12	14	16	18	20	路線	建設課
			10路線	実績値	12	12	12	12			
			評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
O302	歩道のバリアフリー化に関する市民の声の把握	歩道のバリアフリー化実施率	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	建設課
			100%	実績値	0	0	0	0			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
年度評価	R3	O301 横断歩道設置に伴う歩道の切下げにおいて、バリアフリーを考慮し施工した。									
	R3	O302 歩道のバリアフリー化に関する市民要望はなかった。									
	R4	O301 タウンミーティング等で歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かったが、今後もバリアフリー化の必要路線の調査を行い、安全安心な歩道整備の推進を図る。									
		O302 タウンミーティング等で歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かったが、今後もバリアフリー化の必要路線の調査を行い、安全安心な歩道整備の推進を図る。また、市民の声を拾い上げる方法を検討していく。									
	R5	O301 民地側において物理的に困難な箇所があり、バリアフリー化が進まない状況である。歩道のバリアフリー化の必要路線の調査を行い、歩道整備の推進を図っていく。									
		O302 歩道のバリアフリー化に関する市民要望はなかった。									
R6	O301 歩道のバリアフリー化に関する市民要望はなかったが、今後も歩道のバリアフリー化の必要路線の調査検討を行い、歩道整備の推進を図っていく。										
	O302 歩道のバリアフリー化に関する市民要望はなかった。										